CASBEE熊本

# 【八SBEE<sup>®</sup>熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				┃■ 外観
建物名称	ロッキー水前寺店新築工事	階数	地上2F	
建設地	熊本県熊本市中央区水前寺2丁目2	構造	S造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域、都市記	平均居住人員	130 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	4,380 時間/年	
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価	Focky
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2021年1月21日	
敷地面積	3,316 m <sup>*</sup>	作成者	寺川幸子	1.7ト戦凶』ン一トへ知りいししていこでい。
建築面積	2,711 m <sup>*</sup>	確認日	2021年1月21日	
延床面積	2,589 m <sup>*</sup>	確認者	定森淳一	



2 熊本県重点評価結果								
■ 重点事項総合評価			評価点					
			72					
	評価点	■熊本県重点評価基準						
  【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	70.5	判定値(評価点)	ランク表示					
 	61.2	100点以上	66666					
【主点事項2】 女主女心で春のしゃりい社会の夫婦		80点以上100点未満	6666					
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	60点以上80点未満	<b>6 6 6</b>					
  【重点事項4】循環型社会の実現	83.2	40点以上60点未満	<b>6 6</b>					
		40点未満	<b>&amp;</b>					
	※評価点は、100点以上が推奨です。							

Page: 1/5 Sheet: 1/5

CASBEE熊本 結果

# 【**八5B** E E - 建築(新築) ▮評価結果

CASBEE-建築(新築)2016年版



- nent Efficiency (建築環境総合性能評価システム) CASREE: Comprehensive Asse ent System for Built Environ
- ■CR: Quality (建築物の環境品質)、L' Load (建築物の環境局)、L' Load (建築物の環境局)、L' Load (建築物の環境効率)
  ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE熊本 配慮事項

# 【八SBEE熊本《新築》【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

#### 総合

ロッキースーパーストアの新店舗計画。

色彩計画だけでなく、商品搬入時の騒音対策など周辺環境に十分に配慮した。

#### Q1 室内環境

・ハイサイドライトと同等の効果をもつ大型建具の設置により光環境に配慮した

## Q2 サービス性能

- ・売場天井高さを確保し、快適性に配慮した
- ・給排水配管に長寿命材を採用
- ・階高や空間の形状・自由さにゆとりを持たせ、将来の用途変更可能性を考慮した

#### Q3 室外環境(敷地内)

・可能な限り緑化に努め、周辺のまちなみや風景に調和するよう配慮した

#### LR1 エネルギー

・LED照明設備等、高効率設備の採用により、省エネルギー性に努めた

# LR2 資源・マテリアル

- ・省水型便器、自動水栓、節水コマの採用により節水性を高めた計画
- ・躯体材料以外にグリーン購入法における「特定調達品目」の採用や、解体時の分別が容易な工法の採用により非再生性 資源の使用削減に努めた

### LR3 敷地外環境

・交通負荷抑制に配慮した

#### その他

Page: 1/1 Sheet: 3/5

CASBEE熊本 スコア(重点項目)

## 熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

*	★熊本県重点評価結果					総合評価点	
重	点事項					手上声压	
	重点項目(配成	<b>歌項</b> 目)	スコア	重み 係数	評価点	重点事項 重み係数	評価配点
1	温室効果ガス排出量削減の推進						
	Q1-2.1.2	外皮性能	3.0	0.05	70.5	0.40	28.20
	Q1-3.1.3	昼光利用設備	5.0	0.05			
	Q1-3.2.1	昼光制御	0.0	0.05			
	LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	1.0	0.15			
	LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
	LR1-3	設備システムの高効率化	2.9	0.30			
	LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.10			
	LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
2	安全安心で暮らしやすい社会の実現						
	Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25	61.2	0.20	12.24
	Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
	Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
	Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
	LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
3	県の地域資源の有効活用と保全						
	Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.20	75	0.20	15.00
	LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
	LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
	LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
4	 循環型社会の実現						
	Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30	83.2	0.20	16.64
	Q2-3	対応性·更新性	3.4	0.30			
	LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
	LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
	LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	4.0	0.15			

#### ■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点×各重点事項の重み係数)の総和 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①~④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア×各重点項目の重み係数)の総和×(5/4)×20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4)×20:スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

Page: 1/1 Sheet: 5/5